社会教育DVD

監修　日本社会事業大学 専門職大学院 准教授 宮島 清

推薦　社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

中学生以上・一般向け・DVD 約24分

妊娠・出産に戸惑うあなたへ

児童虐待を防ぐ

今、大きな社会問題である児童虐待。そこには様々な要因がありますが、一つに「望まない妊娠・出産」があると、厚生労働省の報告書に記されています。もちろん予期せぬ妊娠だとしても、「祝福された出産」「喜びに満ちた子育て」となる例も多く認められますが、逆に「妊娠によって絶望する」「妊娠発覚時には喜びに満ちていても、周囲の状況の変化などによって出産を望まなくなる」場合もあります。このような妊娠には、児童虐待や遺棄致死、時には殺人という最悪の悲劇を生む可能性があります。

このＤＶＤでは、未成年の女性二人の事例をドラマ形式で描き、「妊娠や出産に戸惑ったときには、絶対に一人で悩まず、相談機関・医療機関に相談・訪問すること」を強く訴えます。「どんな状況であろうと妊娠、出産、そして母と子を支える制度があること」、また「何よりも命は大切であること」を強調します。

文部科学省選定
社会教育（教材）／成人向き／家庭生活（子育て）

推薦　社会福祉法人 子どもの虐待防止センター
公益財団法人 全国里親会

一般向け・DVD 約21分

この子に家庭の幸せを！

里親制度を考える

日本では今、様々な事情から家庭で暮らすことができない子供が、約36,000人になります。その約86％が、乳児院や養護施設で集団生活を送っています。海外では「子供は家庭で育つことが望ましい」との考え方が浸透し、里親養育が盛んですが、日本では「里親制度への周知が進んでいないこと」「家族観の違い」などから、里親の家庭で暮らしているのは4,000人余りに過ぎないのが現状です。

このＤＶＤでは、「養育里親になって乳児院から子供を迎え入れるまで」の過程をドラマ形式で描きます。同時に、里親制度とはどのようなものなのか、専門家の解説をまじえ、実際の里親に体験談を聞き、わかりやすく解説しています。

そして、里親制度が里親となる親のためではなく、まず「子供の幸せのための制度である」ことを強く訴えかけています。

映 学 社 作 品

社会教育ＤＶＤ

妊娠・出産に戸惑うあなたへ 児童虐待を防ぐ

[中学生以上・一般向け 約24分]

推薦 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

■望まない妊娠■

児童遺棄や虐待、養育の放棄により、多くの幼い命が失われている。その悲劇の原因の一つとして問題視されているのが、「望まない妊娠」である。

■愛美の場合■

ＳＮＳで出会った男性の子供を妊娠してしまった、高校３年生の愛美。しかし相手とは音信が絶え、両親にも打ち明けられない。愛美は自宅のトイレで出産し、赤ん坊を遺棄してしまう――。

児童虐待により、年間100人近く幼い命が奪われ、そのうちの40%以上が０歳児、さらにその半数近くが出産直後に発生している。その背景には何があるのか――。「現代の家庭のあり方」などの観点から、専門家の解説をまじえて、事件の原因を探っていく。そして、家庭や本人ができる対策を示唆していく。

■沙織の場合■

高校２年生の沙織は、恋人の子を妊娠して心ときめかせるが、妊娠を知った恋人は豹変し、去っていく。悲嘆にくれた沙織は、医院にて中絶を望むが、医師からは「この時期の中絶は不可能」と伝えられる。そして、「産んで命を繋ぐこと」を強く勧められる。

この事例から、「産むしかなく、どうしても育てられない」場合の対策の一つとして「特別養子縁組」があることを説明していく。

予期しない妊娠を経験した２人のケースを振り返り、相談機関（保健センターや妊娠ＳＯＳの電話など）や医療機関を訪ねる必要を訴え、必ず本人とその幼い命を助けてくれる手段があることを強く訴える。

・ライブラリー価格	本体 ￥65,000＋税
・学校価格（中学校・高校のみ）	本体 ￥33,000＋税

この子に家庭の幸せを！ 里親制度を考える

[一般向け 約21分]

推薦 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター
公益財団法人 全国里親会

文部科学省選定 社会教育（教材）／成人向き 家庭生活（子育て）

■里親になるという選択■

内田晴美（38歳）は、夫と娘、実母の４人家族。２人目の子育てを望んでいたが、病気で子供を産めなかった。ある日、娘の同級生の母親・沢村から、里親として子供を養育していることを知らされる。

■日本における里親の現状■

日本において、親と一緒に暮らすことのできない子供の約86%は、乳児院や児童養護施設で生活しており、欧米などに比べ、里親制度が利用されている数は少ない。

里親の種類（「養育里親」「専門里親」「養子縁組里親」「親族里親」）や、その仕組みを詳しく解説していく。

■里親になるまでの流れ■

「自分も里親となりたい」と強く思った晴美は、家族の同意を得るとともに、児童相談所に相談する。里親になるための研修（「基礎研修」「認定前研修」など）を受け、児童相談所職員の家庭訪問を経ていく中で、里親制度を正しく理解していく。そして晴美は、里親になるための準備をしていく。

■家庭の中で育つということ■

５か月後、１歳３か月の子供を紹介された内田家。「もし実の親による養育が可能になれば、実親が引き取ることが原則」であることをふまえて、正式に委託を受ける。

実際に里親として子供を育てている方に話を聞き、「家庭のぬくもりが子供の成長にとっていかに大切であるか」「里親として、子供を育てていく上で心がけるべきことは何か」を示唆していく。

・ライブラリー価格	本体 ￥65,000＋税

監修 日本社会事業大学 専門職大学院 准教授 宮島 清
企画・制作統括 髙木 裕己　　コーディネーター 斎藤 晃顕
脚 本・演 出 細見 吉夫

制作・著作 株式会社 映学社
ＤＶＤ［カラー］／2015年・映学社作品

●お問い合せ、お買い上げは……

北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央 3-32-3
TEL：049-298-5792　FAX：049-298-5793
E-mail : co@hokushineizo.com